

## 令和7年度第3回 感染症発生動向調査協議会

令和7年6月18日

月番：澤田委員

### 1 前月の感染症発生動向について（2025年第18週～22週・5月）

#### <全数把握対象疾患>

- 一類感染症の報告はなかった。
- 結核は22例あり、毎週コンスタントに報告された（前年比：97.5%，前々年比：115.5%）。高齢者および若年層の2峰性分布を認めた。
- 腸管出血性大腸菌感染症は、3例（0157：1例，0103：1例，その他：1例）報告された（前年比：100.0%，前々年比：233.3%）
- 四類感染症の報告は、E型肝炎3例（前年比：700.0%），日本紅斑熱1例，レジオネラ症8例（前年比：342.9%，前々年比：141.2%）であった。
- 五類感染症
  - ✓ 侵襲性肺炎球菌感染症5例，百日咳137例（前々年比：2261.5%），麻疹1例などの報告があった。
  - ✓ 梅毒は19例報告された（前年比：144.6%，前々年比：152.8%）。

#### <定点把握対象疾患>

- 前月と比較し増加傾向にある疾患
  - ✓ 感染性胃腸炎（前月比：143.9%，前年同期比：637.3%）——中濃圏域に多い
  - ✓ 伝染性紅斑（前月比：258.0%，前年同期比：20981.5%）——全国よりは少ない
- 前月と比較し横ばいにある疾患
  - ✓ 急性呼吸器感染症
- 前月と比較し減少傾向にある疾患
  - ✓ 新型コロナウイルス感染症（前月比：51.0%）
  - ✓ RSウイルス感染症（前月比：31.1%）

### 2 検討すべき課題

百日咳および伝染性紅斑流行の注意喚起か？

### 3 情報提供すべき事項

特にありません。

### 4 情報提供（月番委員専門分野から）

特にありません。

---

<検討結果>